

特集

日ごろからの備えと心構えが最大の防災対策

9月1日は「防災の日」です。地震や台風などの災害について理解を深め、被害を防いだり少なくするためにどうすればよいかを考え、災害に備える日とされています。

災害はいつどこで起こるか分かりません。災害について「正しく知って、正しく恐れ、正しく備えること」が防災の第一歩です。決して他人事ではなく「当事者意識」を持って、それぞれの立場でできることを考え、日ごろから備えておくことが大切です。この機会に、ご家庭や地域での防災対策を確認しましょう。



台風や大雨に備えて…

「総合防災マップ」などを活用して、事前に自宅周辺の危険箇所や避難場所、避難経路、避難方法について確認しておきましょう。また、防災関連情報に注意し、不要不急の外出は控え、増水した河川や田んぼの水路などには絶対に近づかないでください。

事前に、周囲に風で飛ばされそうなものなどが点検し取り除いたり、農業用水路などを掃除し水の流れをスムーズにしておくほか、農業用せき板を水路から外したり、ビニールハウスのビニールをはがすなど被害を最小限に抑える取り組みをしておきましょう。

避難の時に注意すべきこと

ヘルメットなどで頭を保護し、運動靴をはくなど動きやすく安全な服装で避難してください。また、マンホールや道路脇の水路など足元に注意し、複数で避難するようにしましょう。

避難は、安全の確保が第一です。事態が切迫している場合は、指定された避難場所への移動だけでなく、命を守る最善の行動が必要な場合もあります。自宅の前を濁流が流れているときなど、家の外へ避難することが危険なときは、2階など家の中でより安全な場所へ避難してください。

ご自身が不安を感じたとき、危険であると判断したときが、避難のタイミングです。市役所からの指示を待たずに、早めの避難行動を心がけてください。

家の安全性は大丈夫ですか？

大地震の際には、家の倒壊や家具などの転倒によって、命を落とすことがあります。つっぱり棒やL字金具などを使って家具を固定したり、ベッド周りや出入り口付近には倒れやすい家具を置かないよう配置を見直しましょう。

食料や飲料水、生活必需品の備蓄は大丈夫ですか？

大規模災害時には、電気・水道などライフラインが長期間止まることもあります。また、さまざまな物資が不足し、入手が困難になることもあります。そのような場合に備えて、最低3日間は、自らが生活できるよう準備しておきましょう。

また、備蓄している食料や飲料水の消費期限なども確認し、定期的に更新しておきましょう。停電に備えて、懐中電灯のほかにもガスボンベやカセットコンロ、乾電池などを準備しておくことで役立ちます。

普段から多めに食材や加工品を買っておき、使ったらその分だけ新しく買い足すことで常に一定量の食料を備蓄できる「ローリングストック」という方法がおすすです。消費と購入を繰り返すことで備蓄品の一定量を保ち、鮮度も保ちながら、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。

非常持ち出し品を準備しておきましょう！

突然起こる地震や豪雨に備え、備蓄品とあわせて、非常持ち出し品を準備しておくことが大切です。「命や体を守るために何が必要か」「不足すると生活で困るのは何か」を考え、優先的に準備することがポイントです。

アルコール除菌できるウェットティッシュなどの衛生用品や寒さや暑さをしのげるものを中心に、粉ミルクやオムツ、常備薬など、家族構成に応じて準備しておきましょう。

また、いざというときにすぐに持ち出せるよう、リュックサックなどに入れ、枕元や出入り口の近くなど、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておきましょう。

～家の安全性を高めましょう！～

■収納に工夫を

- タンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにしましょう。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

■耐震金具を利用しよう

◎**転倒防止金具**
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

◎**重ね留め用金具**
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。

◎**扉・引き出し開放防止金具**
地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定しましょう。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

■照明器具の補強を

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。

■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にしましょう。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫をしましょう。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？

■ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておく、災害時の足のケガを防止できます。

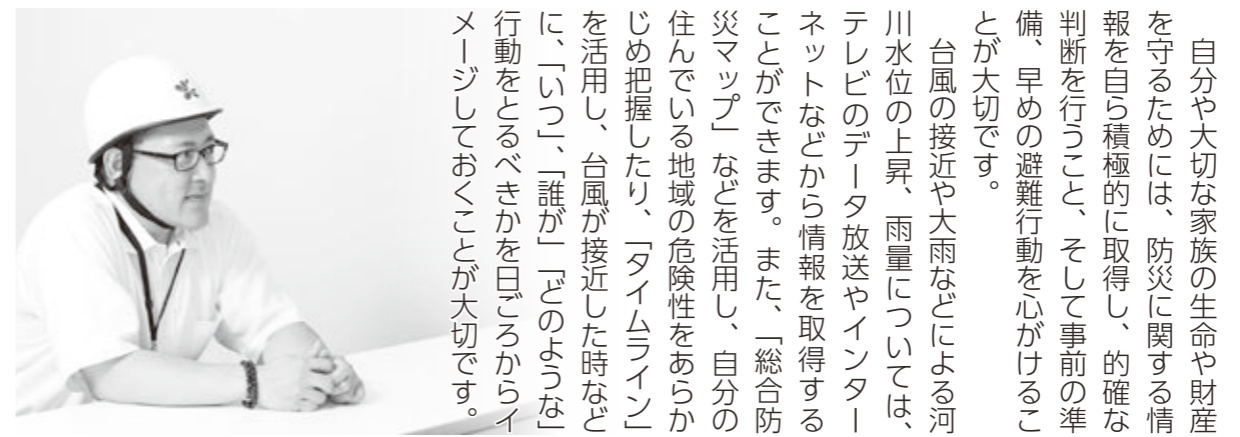
～非常備蓄品と非常持ち出し品～

ライフライン（電気・ガス・水道など）が復旧するまでの数日間（最低3日間、可能な限り1週間分程度）自ら生活できるように準備しておくものです。被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておきましょう。

日頃から、食料と飲料水（1人1日3リットルを目安）を、非常備蓄品として常備しておきましょう。

非常備蓄品	非常持ち出し品
<p>食品・水</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 飲料水（1人1日3リットルを目安） ■ 米（レトルトのごはんなども便利） ■ 缶詰や菓子類 ■ 粉ミルク・離乳食 ■ ペットフード <p>燃料・日用品など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カセットコンロ ■ 予備のガスボンベ ■ 毛布または寝袋 ■ ブルーシート ■ 割り箸 ■ 衣類 ■ 新聞紙 ■ 簡易トイレ ■ 布製ガムテープ ■ キッチン用ラップ ■ なべ 	<p>食品・水</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 飲料水 ■ 乾パン・クラッカー・缶詰など、火を通さなくても食べられる物 <p>日用品</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ポリ袋（ビニール袋） ■ ろうそく、ライター ■ ナイフ、缶切り ■ ティッシュペーパー ■ 筆記用具 ■ 懐中電灯 ■ 携帯ラジオ ■ 電池 <p>救急・安全関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルメット（防災ずきん） ■ 救急医薬品（絆創膏・傷薬・包帯） ■ 病人やお年寄りの常備薬 <p>衣類など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 衣類（下着・上着） ■ タオル ■ 毛布 ■ 手袋、軍手 <p>貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 現金 ■ 預貯金通帳、印鑑 ■ 健康保険証 ■ 洗面用具（歯ブラシ・石けん） ■ ほ乳びん ■ 紙おむつ ■ メガネ <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 免許証 ■ 権利証書 ■ クレジットカード類

避難の際には、非常備蓄品の一部を、非常持ち出し品として活用しましょう。



自分や大切な家族の生命や財産を守るためには、防災に関する情報を自ら積極的に取得し、的確な判断を行うこと、そして事前の準備、早めの避難行動を心がけることが大切です。

台風の接近や大雨などによる河川水位の上昇、雨量については、テレビのデータ放送やインターネットなどから情報を取得することができます。また、「総合防災マップ」などを活用し、自分の住んでいる地域の危険性をあらかじめ把握したり、「タイムライン」を活用し、台風が接近した時などに、「どこ」「誰が」「どのような」行動をとるべきかを日ごろからイメージしておくことが大切です。

災害時に備えて、防災行政無線の受信確認を！

建物火災の発生や気象警報、避難勧告などの発令といった緊急時に、防災行政無線放送で皆さんに防災に関する重要な情報をお伝えしています。

また、普段は、定時放送などで市からのお知らせを放送しています。いざという時に、確実に情報を受け取り、的確な行動がとれるよう、日頃から受信状態の確認とともに、停電時に備え、定期的な電池の交換をお願いします。

戸別受信機の故障や家の中の電波状況によっては、ご家庭で放送が受信できない場合があります。戸別受信機の設置場所を変えても放送が受信できない場合は、防災課までご相談ください。

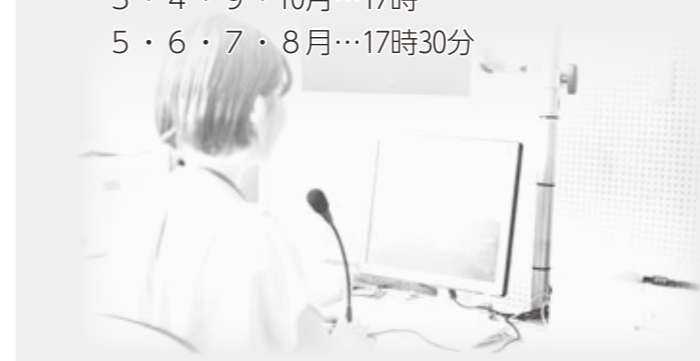
▼定時放送（年末年始を除く）

- 朝の放送…7時15分
- 昼の放送…12時30分
- 夜の放送…19時30分

▼昼のチャイム…毎日正午

▼おかえりチャイム

- 11・12・1・2月…16時30分
- 3・4・9・10月…17時
- 5・6・7・8月…17時30分



防災関連情報やタイムラインの活用を！

市のホームページでは、タイムラインをはじめ、防災に役立つ情報やインターネットサイト、メール配信情報を取りまとめた紹介しています。また、災害時には、避難勧告などの発令や避難所開設状況といった重要な防災情報などもお知らせしています。防災関連情報などを活用し、正しく知って、正しく備えましょう。



◎タイムラインとは…

災害時に発生する状況をあらかじめ想定し、「いつ」「誰が」「何を」するのかに着目して、実施主体ごとに取るべき行動を時系列で整理したものです。事前に「取るべき行動」を時間を追って整理し、意識することで、災害の危険が迫った時に、素早く、安全な避難行動につなげることができます。